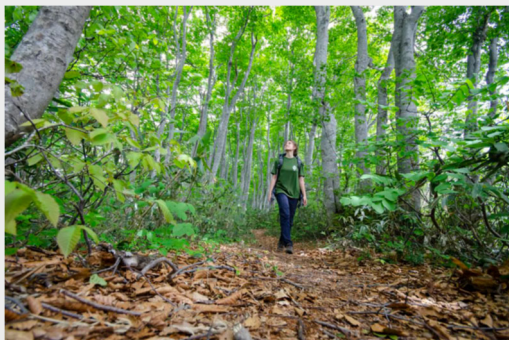


事例Ⅴ 古道（トレイル）の整備による地域振興

（中部森林管理局 北信森林管理署）



- 長野県飯山市(いいやまし) 大神楽(だいかぐら)国有林
- 信越トレイルを代表するブナ林



- 新潟県中魚沼郡(なかうおぬまぐん) 津南町(つなんまち)
- 延伸ルートの整備

北信森林管理署では、旧道・古道（トレイル）に多くの方が訪れることが、地域の活性化、観光振興に寄与することから、NPO 法人信越トレイルクラブと協定を締結し、同 NPO を中心としたボランティアによる持続的なトレイル整備が進められています。

新潟・長野の県境に位置する^{（信越）}関田山脈の歴史ある旧道・古道の一つ、斑尾山から天水山まで約 80km の信越トレイルに加え、天水山から苗場山までの約 30km のルート延伸に向けて、新潟県津南町、長野県栄村の古道や歴史、自然に詳しい有識者、新潟県・長野県職員等、信越トレイルクラブ事務局が中心となって、ルート調査、資源調査、地権者確認、集落ごとの住民説明会等を行ってきました。令和 3 年度には、多くのボランティアの方々とともに実施してきた延伸区間のトレイル復元作業、道標の設置等が完了し、公式マップやガイドブック、ホームページ等も作成されました。将来的には、今回整備した「信越トレイル」と、その西側にある「あまとみトレイル」をつなぎ、約 200km のロングトレイルの整備を目指としています。

今後も引き続きトレイルの整備に協力し、地域振興にも貢献していくこととしています。